

第9回 令和5年（2023年） 館山市議会報告会 報告書

館山市議会報告会は、館山市議会基本条例に基づき実施するもので、その目的は、議員が皆様に議会活動を直接報告し、また、身近なテーマについて意見交換を行うことで、皆様の様々なご意見をこれからの議会活動に活かそうとするものです。

過去4年間は、令和元年の台風災害や新型コロナウイルス感染拡大により、皆様と対面での報告会が中止となりました。今回は5年ぶりの対面での開催となりましたが、館山市役所を会場に、全議員が午前・午後の2班に分かれて開催したところ、合わせて57名の方に参加をいただきました。

日 時 令和5年10月28日（土）午前：10時～11時40分／午後：14時～15時30分
実施会場 館山市役所本館2階会議室
参加者数 57名（午前32名：午後25名）



出席議員（左から）

瀬能孝夫（司会）、鈴木正一（班長）、望月昇（総務報告）、鈴木順子（文教民生報告）
長谷川秀徳（建設経済報告）、石井敬之（記録）、佐野聖一（記録）、本澤栄里子（記録）
渡辺雄二（記録）



出席議員（左から）

石井信重（司会）、石井敏宏（司会）、太田浩（班長）、鈴木ひとみ（総務報告）
倉田孝浩（文教民生報告）、安田邦春（建設経済報告）、秋山光章（記録）
鈴木明子（記録）、東洋平（記録）

【次 第】

1. 開 会
2. 自己紹介
3. 班長挨拶
4. 常任委員会からの報告（令和5年6、9月議会）
 - (1) 総務委員会 (2) 文教民生委員会 (3) 建設経済委員会
5. 意見交換
 - ・テーマ「公共施設の再編」
 - (1) テーマ主旨説明 (2) 意見交換
6. その他の質疑・応答

1. 常任委員会報告

(1) 総務委員会（報告内容）

① 議案第44号 一般会計補正予算について

- ・コミュニティ医療推進活動支援補助金（約370万円）
- ・那古市営住宅改修（約9,200万円）、北条小プール建替え（約2億4千万円）等

② 議案第60号 一般会計補正予算について

- ・こども園整備補助金（約1億3千万円）、出産子育て応援給付金（約1,200万円）
- ・那古山治山事業（約1,500万円）、消防団詰所(亀ヶ原)整備（約400万円）
- ・インバウンド(台湾)推進事業（約110万円）、電気料高騰対策（約1,200万円）等

<質疑・応答>

問 那古市営住宅の入居率はどうなっているか。税金での運営なので有効活用してほしい。

答 この場に数字はないが、ほぼ100%入居している状況です。

問 漁民アパートは空きがあるように見えるがどうか。

答 見に行ったことがあるが、老朽化しているところがあり、修繕が終わっていないところもあって入居できないのではないかと。

問 全国でプールの建替えが進んでいるが、市議会として将来的な展望はあるのか。建設費用の2億4千万円は25mプール1面分か。

答 義務教育中、小学校では水泳を授業として行うが、中学校では必ず行わなければならない授業ではないため、中学校へのプール新設については費用等の関係もあり様子を見ている。プール1面分の解体・新設で2億4千万円。また、将来的にプールの建替えをすれば同程度の費用を要する見込みである。

問 出産・子育て応援給付金の具体的な内容を教えてほしい。

答 妊娠（母子手帳交付）時に5万円と出産時5万円で合計10万円です。

問 インバウンドは台湾だけでなく色々あるが、他の計画はあるのか。

答 今のところは台湾と交流しているが、ベルリンやポルトステューブンスなどとも交流があるので、広げていった方がよいと考えている。

<市議会への意見・要望>

問 こども園の整備はいいが処遇待遇改善はどうか。議会として執行部に働きかけてほしい。

答 私立保育園に対しては保育士の給与を上げる改善があった。個人としては、子育てや介護に携わる人の処遇は見直しが必要だと思っている。

<執行部への意見・要望>

問 委託事業で市内外の業者の割合はどうなっているのか。

答 具体的な数字は把握していないが、できるだけ市内業者にお願いしたいと考えている。道の駅ができるが、とにかく館山の業者にお願いしたいと伝えられているが、どうしても応募が集まらないこともある。議員も行政も同じ思いです。

(2) 文教民生委員会

- ① 議案第 38 号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 他
- ② 議案第 63 号 令和 5 年度館山市介護保険特別会計補正予算について
・介護給付費準備基金積立金（約 1 億 3 千万円）

<質疑・応答>

なし

(3) 建設経済委員会

- ① 議案第 43 号 市道路線の認定について
- ② 議案第 59 号 館山市治山事業分担金徴収条例の制定について

<質疑・応答>

なし

2. 意見交換：テーマ「公共施設の再編」

(1) 「公共施設の再編」をテーマとした理由

<現状>

- ・館山市の公共施設は、建設から 30 年以上経過した施設が全体の 8 割。
- ・施設の維持には、施設の建替えや大規模改修に多額の費用が必要。
- ・少子高齢化、人口減少の中で税収減が想定され、厳しい財政状況が予測される。

<対策>

- ・将来の人口規模や財政状況を見据え、中・長期的な視点による公共施設の更新や統廃合・長寿命化などを計画的に実施するための取組が必要。

- ① 「公共施設に関する市民アンケート」実施
- ② 平成 29 年度に「館山市公共施設等総合管理計画」を策定
- ③ 公共施設の種別ごとに「個別施設計画」を策定

⇒ 今後の維持管理の方法や存続・廃止・統合などの方向性を示す。

※「市民アンケート結果」、「公共施設等総合管理計画」、「個別施設計画」については館山市のホームページで公開中

(2) 現在進んでいる公共施設の再編、廃止、統合等の取組例

- 「温水プール」、「老人福祉センター（2か所）」（令和5年度末廃止予定）
- 学校施設
 - ・「将来の学校の在り方に向けた基本指針」に基づき、児童の減少が進む小学校の再編について、各地区において地域の方や保護者を交え協議中
- 子育て支援施設
 - ・北条幼稚園を中央保育園と統合し「認定こども園」を整備予定
- 地区公民館
 - ・築50年ほど経過し、老朽化が著しい
⇒令和5年の夏から将来の地区公民館の再編について協議スタート
- 廃校施設の利活用
 - ・旧富崎小学校校舎、旧神戸小学校
 - ※小学校の再編が進むと、空き校舎が発生。施設の利活用が大きな課題。
さらに建設中の館山中が完成すると、現在の館山中（旧第二中学校）が廃校となり、建物や土地の新たな使い道の検討が必要。

(3) 意見交換の内容

<質疑・応答・意見>

問 二中跡地の利活用について、物の利用ではなく、土地の売却、公園を造りながらの宅地開発などの議論があったことはあるか。今はまだ土地の値段が下がっていない。人は減るかもしれないが、核家族化が進んでいて売れている。宅地の値段は安定しているから一つの案として考えないか。

答 跡地利用については、まだ話し合いが進んでいるわけではないが、市有地有効活用は市にも要望している。個人的には、二中跡地は温水プールが無くなることや、運動施設が2ヶ所しかないので、体育館も有効活用して、スポーツ団体が合宿できるような施設ができれば良いなと考えている。

問 公共施設の利用は人口減少と両輪で考えていかねばならない。二中跡地にはリモートワークの拠点にしてはどうか。水産高校の跡地について公聴会に参加したが、その際に県の土地だから手がつけられないと言っていたが、それは違うのではと思った。人口減少を止める政策を進めてほしい。

答 6～7年前の議会報告会では、「ストップザ人口減少」というテーマで話し合い、様々な意見が出ていた。例えば、水産高校跡地については個人的には渚の駅の拡充について意見した。これからも前向きに働きかけていきたい。

問 公共施設再編の話は今年の夏から協議を始めたのか。

答 「館山市公共施設等総合管理計画」を平成29年6月に策定し、協議を継続している。

問 学校再編はいつからどのように協議しているか。人選はどのようになっているか。

答 ホームページでは令和4年10月に第1回の協議記録があり、現在も学校再編委員会で協議中である。いずれ素案の形としてお示しできると思うが、まだ議会には素案は示されていない。あくまでも素案であり、それが決定ではない。委員は、学識者・教育関係者・保護者（PTA）関係者・市議会議員・公募委員と教育委員会の事務局で構成されている。

問 公共施設の再編に関連して、人口減少問題にも目を向けて対策を取っているか。

答 人口減少に歯止めをかけるには、移住を促進するか出生数を増やすかが主な対策と考えており、それぞれ対策を講じているが、すぐには答えが出るものではないと考えている。

問 市営住宅の空き状況は。空き室が多いなら1カ所にまとめるなどの再編をしたらどうか。

答 平成27年のデータでは入居状況は満室に近い。老朽化した建物は壊している。

問 城山のふもとの真倉の市営住宅は埋まっているのか。

答 平成27年の資料では、265戸中248戸が埋まっていたが、最新の情報は市に確認してほしい。

問 体育館の利用希望者は多いか。体育館を利用したい時はどうすれば良いか。

答 館山市は人が集まりやすいのに、市営体育館が1つしかない。その体育館は老朽化している。人口規模に合った運営が必要だと考えるし、安房地域全体での広域化も模索していくことも必要ではないか。

問 国の補助等で、体育館と避難施設等、他の施設を組み込んだ複合型や多機能型の施設を検討しているのか。

答 これからは、多機能型・複合型が必要。体育館にエアコンの設置をして快適にして、避難所としても活用できるように要望している。財源の確保は様々検討しているが、公共施設は建設したら維持費も必要となるので、有効に活用することが必要だと考えている。

問 体育館等施設が足りないとのことだが、民間施設を活用したら民間事業者へ補助金などは出るのか。

答 鴨川市は民間を活用している。補助金等の議論をしても良いと思う。

問 第二中学校の跡地の土地及び各施設は、今後どのようにするのか。

答 まだ決まっていない。これから検討が始まるので皆様の意見をいただきたい。

問 公共施設の再編について、何を質問したら良いかもわからない状況なので、事前に広報に示す等の改善をしてほしい。

答 ご意見を真摯に受け止め、改善していきたい。

問 議会報告会について、この会のような集団の中では意見も言いづらいと思う。ちょっとした意見も言えるような運営にしてほしい。また、事前にアンケートを実施しても良いのではないか。

答 ご意見は真摯に受け止めたい。公共施設のあり方を皆さんと一緒に議論できるように忌憚のない意見をいただきたい。

要望・提案

意見交換のテーマの概要を事前にホームページ等に掲載してほしかった。再編計画について、議会の中でもっと話し合っしてほしいと思うが、今回の意見があった上で、今後、どのように活かしていくのか。議会として意見をとりまとめて、執行部に意見してはどうか。

答 資料の事前掲載は午前中の意見にもあったので検討していきたい。議会として執行部にしっかり届けていきたい。廃止ありきではなく地域のニーズにあった縮小の仕方を考えなければならない。様々な方策がある中で、館山市としてどの選択をすれば地域が元気になるのか、総合的に色々な分野が一緒になって考えていかなければならない。皆様から貴重なご意見をいただいたので、議会の中でも共通認識のもとで進めていけるようにしたい。

意見・要望

公共施設の再編は仕方ないが、永く住んでいる方にとっては、愛着もあるだろうから良い形で議論してほしい。

意見・提案

館山はバイパス方面が賑わったのに、人口減は止まらなかった。この状況をもっと真剣に考えた方が良い。長年、学校の統廃合も反対の立場をとっている。20年後の人口減少を食い止める施策をしないで統廃合ありきはおかしいと思う。

3. その他、自由なテーマで意見交換

意見・要望

今回9回目とのことだが、雰囲気がかたい。市民と議員の距離感が遠く、もっとラフな感じの方が意見を出しやすい。また、市民と定期的に話をする場を設けてほしい。

答 距離感、内容等、運営面に関しては、今回の反省を次に繋げていきたい。議会報告会は以前は各地区公民館に出向いていた。良かった点は、地域の問題が議論になりとてもわかりやすかった点だが、参加者が少なくなった地域もあり今回このような形にした。市民の方へ議員からアプローチすることも大切だと思う。

問 道の駅グリーンファーム館山のオープンが来年2月に迫っているが、どれ位の集客を見込んでいるのか。車の台数の見込みがわかるならば、渋滞を起こさないだろうか。あの道は緊急車両も通ることも考えて進入路も設計しているのか。安房グリーンラインだけでも拡張したほうがよいのではないか。

答 年間25万人ほどを見込んでいるが、車の台数は把握していない。現状の計画だと進入路はつくらず、バスが入るにはセットバックが必要だが、用地買収もまだ行っていない。その点は執行部とも十分に検討していきたい。

問 館山市として、全国に向け人が来るようにアピールや取組はしているか。

答 市ではSNSを活用し発信している。市のアピールがもっと必要なのか等の議論が必要ではないかと思う。

意見・要望

ライブカメラがピンボケしている時がある。ホームページも見づらい。ホームページをわかりやすく、魅力的な発信をするように工夫をして欲しい。館山市民には当たり前のことでも、都会の方が見ると新鮮に思えることがあると思う。

意見・提案

移住者の中には、クリエイティブに活動してきた人たちがいる。他の自治体と同じことをしても勝てないと思う。ぜひ、企画力のあるような市民とチームを組んで「市民宣伝部」のようなものを作ってみたらどうか。

結びに

この度の議会報告会は5年ぶりの対面式での開催で、前回とは開催方法を大きく変更し実施いたしましたが、多数のご参加をいただき有難うございました。

議会報告会の開催趣旨は、議会という市民の皆様から選ばれた組織として皆様に対して日頃の議会活動の報告を行い、皆様から様々なご意見をいただき市政や議会活動に反映させることです。これは、議会への住民参加という理念に基づいています。

「公共施設の再編」という市民に身近な問題をテーマにした意見交換では、大変多くのご意見やご要望、ご提言をいただきました。これは、参加者ひとり一人が、公共施設だけでなく館山市の未来について身近な問題として真剣に考えている証だと認識しています。

館山市議会は、皆様からいただいた貴重なご意見等を、今後の議会活動と市政にしっかりと活かし、これからも市民と共に歩み、「市民福祉の向上と市勢の発展」のために努力を重ねてまいります。

令和5年12月25日

館山市議会議長 太田 浩